

あさみじょうすいじょう しゅうどうせいしつ
朝見浄水場 集合井室

朝見 2 - 4130 - 1 別府市
国登録有形文化財（建造物）
平成9年9月3日登録

配水池の横にある集合井室は、鉄筋コンクリート造り、八角形で内径3mの人造石仕上げでドーム型の屋根を持つ西洋風のクラシッな建築意匠である。

建物は、朝見浄水場拡張事業（計画人口75,000人、総事業費535,000円）大正15年（1926）2月6日に起工、昭和2年（1927）11月竣工した事業の一環として建築されたものである。

集合井は内径3m、深さ3.5mの丸形井戸にして増設濾過池より送水する浄水と旧濾過池より旧集合井を経て送水する浄水とを茲に合流せしめてこれより内径24インチ鉄管に依り増設配水池に送水する装置にして上部に内径3m、八角形の上家を建て室内に各種制水弁の開閉設備を配置している。



（外山 健一）